



ポロクルを通じたまちづくり ～あなたとつくるやさしいまち～

2016.3.16



特定非営利活動法人 ポロクル
事務局長 熊谷 美香子

- 1 .ポロクル誕生からNPO法人ポロクルの現在
- 2 .サイクルシェアリング事業
- 3 .「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業
- 4 .「ポロクル」を通じた観光魅力づくり
- 5 .「ポロクル」を通じたその他の事業

1. ポロクル誕生からNPO法人ポロクルの現在

- **2008年 北海道モビリティカフェでサイクルシェアについて考える**
「北海道モビリティカフェ」：有識者、企業、学生を交えた体験型検討会
- **2009年～2010年 実証実験**
北海道で初の本格的実証実験を開始（札幌市厚別区の一部、札幌都心部）
規模を拡大して事業化を多角的に調査・検討
- **2011年～2014年 札幌みんなのサイクル「ポロクル」事業化**
株式会社ドーコンモビリティデザインによる運営
→ 4年間で、登録件数9,000件、利用貸出数42万回。
- **2015年 NPO法人ポロクルによる運営がスタート**
2014.11.4 NPO法人ポロクルを設立。
都市が抱える様々な社会問題の解決に「ポロクル」をより一層役立てたい
→ 社会に貢献し、市民・企業にも参画いただける取り組みをしよう！

・・・が、キビしい収支状況。
でも、続けていかなければならない！
運営改善に向けたポロクルの方向性は？

札幌の
まちづくり
人づくり
魅力づくりに
貢献したい！

私達の目的や活動事業に賛同してく
れた「あなた」の、参画・連携・協
力・寄付により活動事業を継続

空前の
インバウンド観光
この
チャンスを
活かしたい！

インバウンドを含む観光利
用を促進し、事業収支改善
につなげる

1. ポロクル誕生からNPO法人ポロクルの現在



●団体の目的

- ・札幌都心部による短距離の移動を行う市民や観光客に対して、自転車の共同利用手段を提供することで、市民や観光客の行動範囲の拡大を促し、札幌都心部の活性化に寄与すること。
- ・市民へ自転車の共同利用の提供を通じて、自転車利用のルールやマナー、環境負荷低減に関する啓発活動を行い、違法駐輪の削減によるまちなみ景観の向上、札幌都心部の環境保全に寄与すること。

1. ポロクル誕生からNPO法人ポロクルの現在

サイクルシェアリング事業



自転車共同サービスの提供/運営管理

自転車利用のルール・マナー 環境負荷軽減に関する啓発活動事業



- 自転車のルールマナー向上に向けた活動への参加
- イベント企画、実施

交通安全や環境保全に関する 情報提供事業



HP/SNS等による情報発信

その他目的を達成するために行う附帯事業



- 広告事業
- 都市型サイクルツーリズム推進プロジェクト

2. サイクルシェアリング事業

実施



NPO法人ポロクル

事務局10名 運営管理、企画・連携検討、製作、広報、営業、登録受付窓口、ポート設置撤去 など



協働

運営



NPO法人ezorock

約50名の学生中心スタッフがサポートセンターを運営。
ポート自転車の点検メンテナンス、自転車再配置、利用中の問い合わせ など

実施概要

営業期間：2015年5月1日～10月31日（6ヶ月間）

営業時間：7：30～21：00

自転車台数：350台 ポート設置箇所：44ヶ所

料金体系：登録料324円、カード代540円（送料432円）

1ヶ月プラン1,620円・1回プラン108円/30分

法人プラン3,240円/60分、1日パス1,080円

認証媒体：専用ICカード、おサイフケータイ、SAPICA

決済方法：クレジットカード、請求書払い

2. サイクルシェアリング事業

MADE IN SAPPORO

企 画 : (株)ドーコン
自転車製作 : 武田産業(株)
ポート製作 : (株)土谷製作所
通信システム : シスコン(株)

自転車デザイン : 南雲勝志氏

リーダー
貸出ランプ
エラーランプ

登録用リーダー

前輪ロック

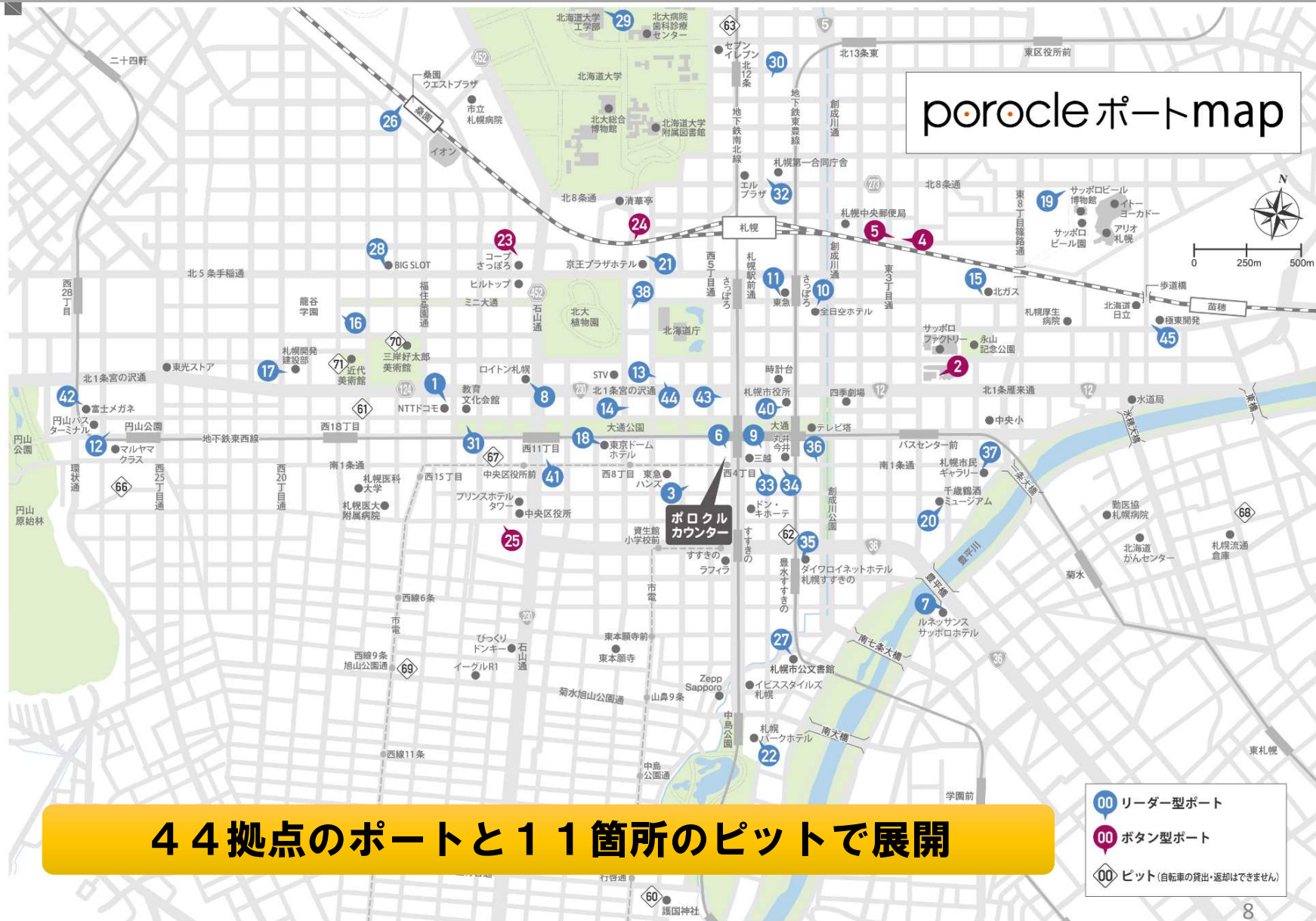
ラック

コントローラー



26インチ
3段変速
自動点灯ライト

2. サイクルシェアリング事業



44拠点のポートと11箇所のピットで展開

- 00 リーダー型ポート
- 00 ボタン型ポート
- ◇◇ ピット (自転車の貸出・返却はできません)

2. サイクルシェアリング事業

● サイクルポートの設置

◎ 市民・観光客が利用しやすい場所に



【市役所】



【ホテル】

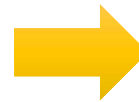


【観光地】

◎ 放置自転車問題で困っている企業と連携



バリケードから



ポロクルポートへ

2. サイクルシェアリング事業

● サイクルポートの設置

◎ まちづくり株式会社と連携し、歩道上にポートを設置



【札幌第一合同庁舎前】



【南1条通 JCB札幌東ビル前】



【南1条通 大丸藤井セントラル前】

◎ 自転車走行環境改善の社会実験に協力、歩道上にポートを設置

北1条通(国道) の自転車走行空間社会実験
(ブルーレーンの設置) に協力。

⇒ 車道側から乗入可能なポートを設置



【北1条通 アーバンネット札幌ビル前南側】¹⁰

2. サイクルシェアリング事業

● 運営の様子

◎ルール・マナーを守りながら運営することで、市民の模範となっている



2. サイクルシェアリング事業

● 運営の様子

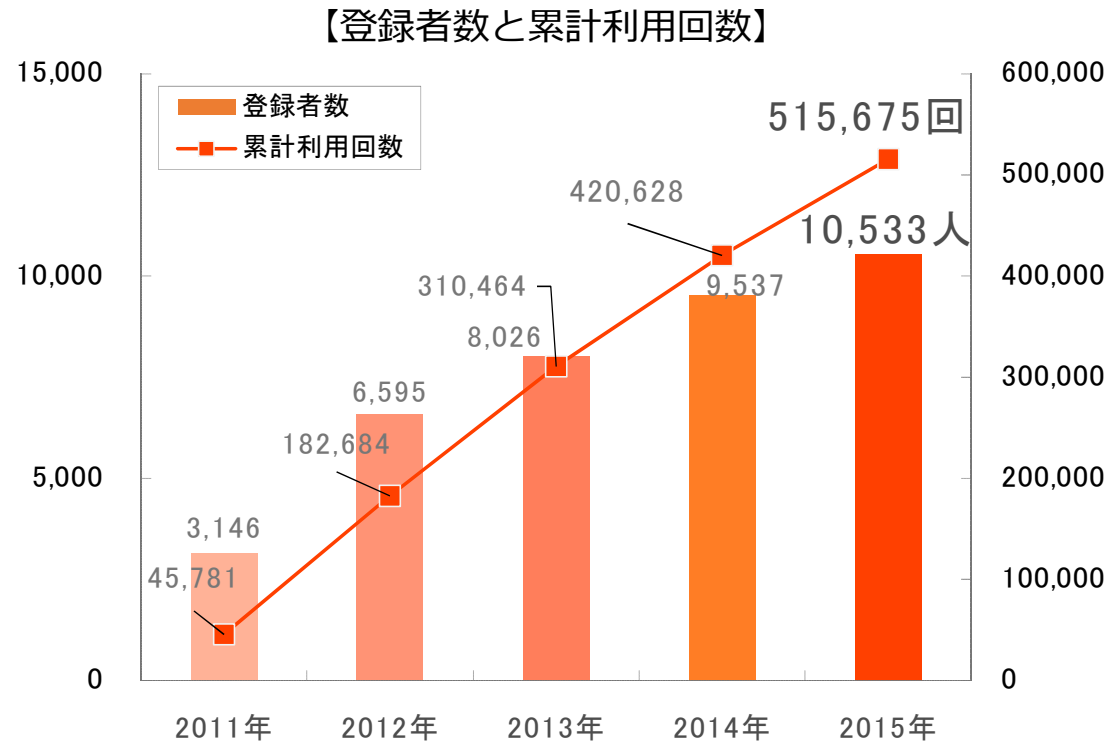
◎自転車の点検、ポートの点検、自転車の台数調整、ポート周りの清掃、利用中のお客様からの問合せなど。

◎ユーザーとのコミュニケーションも増加（挨拶、声かけなど）。



2. サイクルシェアリング事業

● 2015年度 利用実績



登録件数10,500件を突破

2015年度

登録（一般・法人）約1,000件

年間利用回数約95,000回、平均利用回数約520回/日、最大利用回数約870回/日

自転車回転率平均1.7回/台・日、最大2.8回/台・日

3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業

●2013～2014年度 自転車利用のルール・マナー向上にむけた取り組み

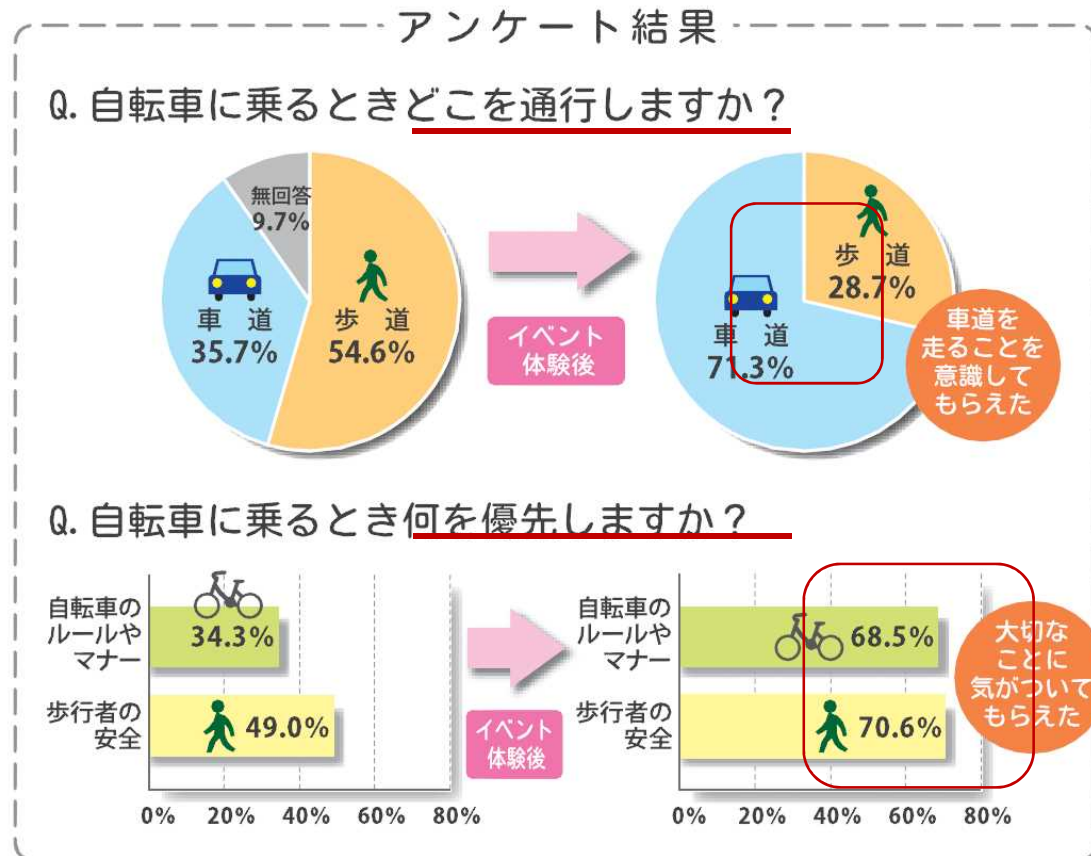
◎自転車の楽しさや知識を伝えつつ、ルールやマナーへの関心を高めることを目的としたイベント “自転車day” を企画、実施。



【ブースでの声かけ】



【まちなか体験走行】



3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業

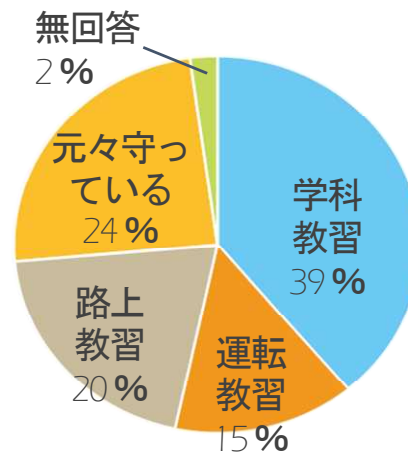
●2015年度 自転車利用のルール・マナー向上にむけた取り組み

◎イベント“SAPPORO♡BICYCLE DAYS”にて、自転車免許教習所を企画・運営。

教習を通し、“歩行者への思いやり” “自分へのおもいやり（安全確保）”をテーマに、行動変容のきっかけづくりに挑戦。

<自転車免許教習所>

- ⇒ 学科教習
- ⇒ 運転教習
- ⇒ 路上教習
- ⇒ 卒業検定
- ⇒ オリジナル免許を交付



【行動変容のきっかけ】



北海道新聞新聞20150916 (水) 付

3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業

自転車免許教習所

【警察による学科教習】



【受講者の様子】



【ホコテン仮設コースでの教習】



【路上教習】



【企画運営に携わったスタッフ】



【交付後の受講者】



【交付の様子】



【免許交付式】



【自転車シミュレーター】



【自転車メンテナンス】



【駐輪場案内MAP】



【ポロクルデコデコ】



3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業

◎自転車と歩行者が多く錯綜する札幌駅前通大通付近にて、さっぽろ自転車押し歩きキャンペーンに協力。大通まちづくり株式会社と連携して啓発活動を実施。

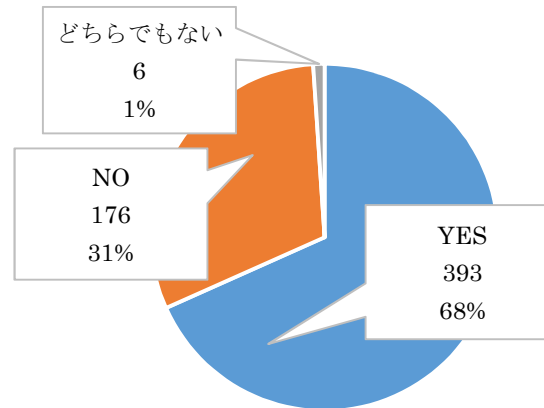


【押し歩き出発式】

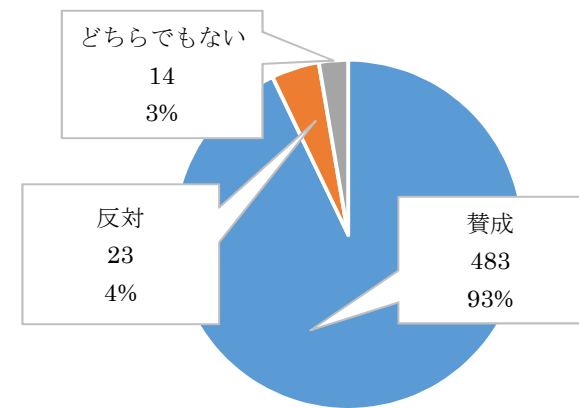


【啓発冊子の配布】

【大通で自転車が怖いと感じたことはありますか？】



【歩道が混雑している場所で押し歩きを推奨することに】



◎参加スタッフの声

「押し歩きをしている人が増えてきたように感じた」

「**地道に続けることが大事**だと感じた。継続的に活動していきたい」

「自転車の問題や社会について**考えるきっかけ**になった」

「この活動がきっかけに**市全体の意識が変わって**いけばいいと思う」

3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業



4/10	LOVE&MANNERサイクルキャンペーン
5/1~10/31	西2丁目線管理
5/29	ごみゼロの日キャンペーン
7/19	TOWN
7/25	まちなか運動会
8/10	道路ふれあい運動（道の日街頭啓発）
8/28	サイクリングガイド養成講座
9/1~10/31	押し歩きキャンペーン
9/4,10,17,24	サイクルマナーアップキャンペーン
9/5	Make A Wishチャリティマラソン
9/13	ミニ大通祭り
9/19,20	SAPPORO LOVE BICYCLE DAYS
10/13	西5丁目社会実験模範走行

3. 「ポロクル」を通じた社会貢献活動事業

●まちの防災に向けた取り組み

◎北海道開発局札幌開発建設部
および札幌市との災害協定を締結。



札幌開建
ポロクルと協定
災害時の移動手段確保

北海道開発局札幌開発建設部とNPO法人ポロクル(萩原亨理事長)は13日、札幌市中央区の札幌開発建設部庁舎で「災害等の発生時における札幌開発建設部と特定非営利活動法人ポロクルの応急・復旧活動の支援に関する札幌開発建設部と特定非営利活動法人ポロクルの協定」を締結した。写真提供：札幌開建

中央区の札幌開発建設部庁舎で「災害等の発生時における札幌開発建設部と特定非営利活動法人ポロクルの応急・復旧活動支援に関する協定」を締結した。写真提供：札幌開建

協定は、札幌都心部で会員登録制のレンタサイクル事業を展開するポロクルと連携し、災害時に災害復旧活動を行う職員の移動手段を確保するもの。札幌開発建設部敷地への自転車の運搬、設置と無償貸出管理を行う。

【2015年3月17日 北海道建設通信】



札幌市とポロクルが協定締結

札幌市と特定非営利活動法人ポロクルは二十四日、災害等の発生時における応急・復旧活動の支援に関する協定を締結した。市庁舎で举行的調印式では、危機管理対策課の相原則幸課長とポロクルの萩原亨理事長が協定書にサイン。迅速かつ円滑な災害復旧活動に向けて、自転車無償貸出しの約束も交わした。

ポロクルは、平成二十六年に札幌市との二〇%出資会社、札幌ドコモモビリティデザインから事業を継承。国内最大規模のコミュニティサイクル(会員制貸出自転車)と事業の連携を図ることで、災害発生時に復旧活動を行う札幌市職員の移動手段を確保することなどが目的。学校をはじめとする避難場所への自転車の運搬・設置や、設置した自転車の点検・整備の管理、自転車の無償貸出管理などを

して札幌都心部の活性化に寄与している。所有するサイクルポートは市内四十九ヶ所以上にわたり、三百五十台の自転車を管理。自転車の後輪はパンプしない仕組みとなっており、災害時にも活用できるものとなっている。

今回の協定は、ポロクルと「今回の協定は非常に心強い。これからいろいろなサポートをお願いしたい」と期待。萩原理事長は「災害時の移動手段として活用していただければ」と語った。

今後は、災害時の迅速な初動体制の確立などについて協議を進めていく予定。

調印式では、危機管理対策課の相原課長とポロクルの萩原理事長が協定書を手交。迅速かつ円滑な災害復旧活動に向けて、自転車の無償貸出などを約束した。

相原課長は、災害時における自転車の重要性を強調し、「今回の協定は非常に心強い。これからいろいろなサポートをお願いしたい」と期待。萩原理事長は「災害時の移動手段として活用していただければ」と語った。

今後は、災害時の迅速な初動体制の確立などについて協議を進めていく予定。

【2015年4月27日 北海道通信】

4. 「ポロクル」を通じた観光魅力づくり

●2015年度 観光利用の取り組み

【1日パス】 登録なし・現金払い

販売窓口：北海道さっぽろ観光案内所、ホテル（24ヶ所）
JR北海道旅行商品オプション、じゃらんねnet

【ガイド付ツアー】 観光団体との連携

【プロモーション】 HP・SNS・ホテル（パンフ部屋置など）
札幌市広報HP掲載・旅行雑誌など

【利用促進ツール】 散策MAPの製作

【利用促進連携】 カフェなどに「ピット」設置11ヶ所（ポート無）



4. 「ポロクル」を通じた観光魅力づくり

◎ エコモビリティの連携による都市型ツーリズム推進プロジェクト

環境省「地域における草の根活動支援事業」。一社）シーニックバイウェイ支援センターと共同で、エコモビリティ（自転車・ベロタクシー）を使ったツアーガイドの養成講座や、モニターツアー、モデルプランの企画・検討を実施。

平成27年度 環境省
地域における草の根活動支援事業

さっぽろスマートシティプロジェクト

市内エコモビリティツアーガイド養成講座 参加者募集

環境に優しい自転車、コミュニティサイクル、ベロタクシー及び公共交通等のエコモビリティを活用したツアーガイドの養成講座を開催します。エコモビリティでスマートに移動しながら、観光地「札幌」の魅力伝えるスキルを学び、ツアーガイドとして活躍しませんか。

- 内容：全行程2回(1回目：8月27日(木)・28日(金)、2回目：10月24日(土))
- 参加費：一人3,000円 ● 募集人数：25名
- 対象：ツアーガイドを目指す方、興味のある方。
(講座受講終了後、エコモビリティツアーのガイドとして登録頂き、実際に活動して頂くことがあります)

＝ プログラム ＝

	日時/場所	内容/講師
養成講座 1回目	8/27(木) 18:00～20:00 北海道開発技術センター 4F 大会議室	「ツアーガイドについて学ぶ」 ツアーの道中で旅にまつわる情報や見どころを伝え、乗客を楽しませながら目的地に導くガイドのスキルや心構えを学びます。 ◆ 講師：荒井一洋氏 (NPO法人 ねおす 理事) ◆ 講師：佐藤瑞季氏 (Sapporo Shot Tours (札幌観光バス) のアウトドアガイド)
	8/28(金) 10:30～12:00 ドリノキ 会議室	「道路交通法と自転車のマナーを学ぶ」 ポロクルでの実地研修あり サイクルツアーのガイドに必要な自転車利用のルールとマナーや、平成27年6月に改正されたばかりの道路交通法を遵守するための注意点やコツについて、座学と実践の両方から学びます。 ◆ 講師：三上貴史氏 (NPO法人 ポロクル)



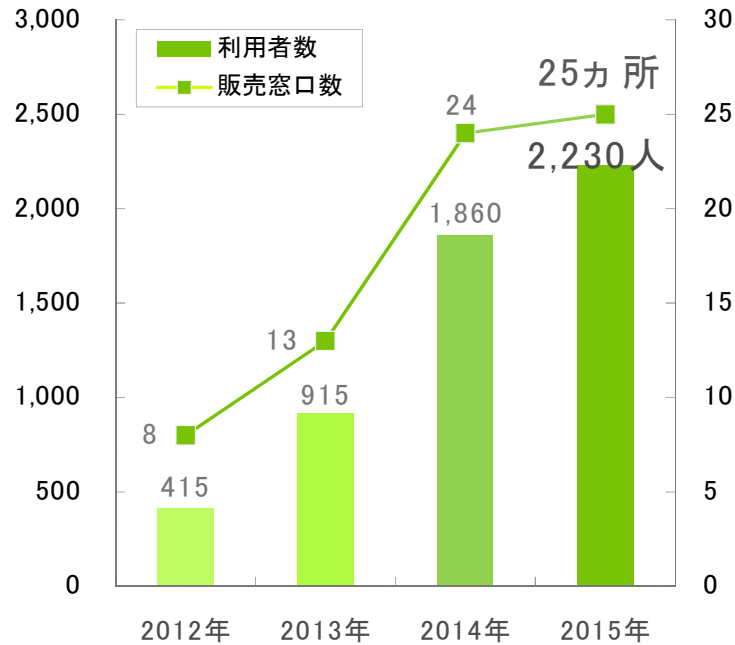
札幌まちづくりの黎明期から、豊平川の豊かな伏流水や交通の利便性によって、産する大友亀太郎が規範農場を開いた地域で、農業を中心に発展してきました。醤油工場に触れるコースです。

日程	
平成27年10月7日(水)	12:10～17:00
コース	
L2:00	札幌駅(東コンコース北口)集合
↓ 5分	
L2:10	「札幌第一合同庁舎ポート」から自転車貸出 グリーンコースとオレンジコースに分かれて出発
↓ 35分	
L3:00	福山醸造(株) しょうゆ工場見学(60分)
↓ 5分	
L5:00	雪印メグミルク 酪農と乳の歴史館見学(30分)
↓ 10分	
L6:00	「ガーデンパークポート」にて自転車返却 サッポロビール博物館見学(30分)
↓	
L6:30	解散
	【所要時間 4時間30分】

4. 「ポロクル」を通じた観光魅力づくり

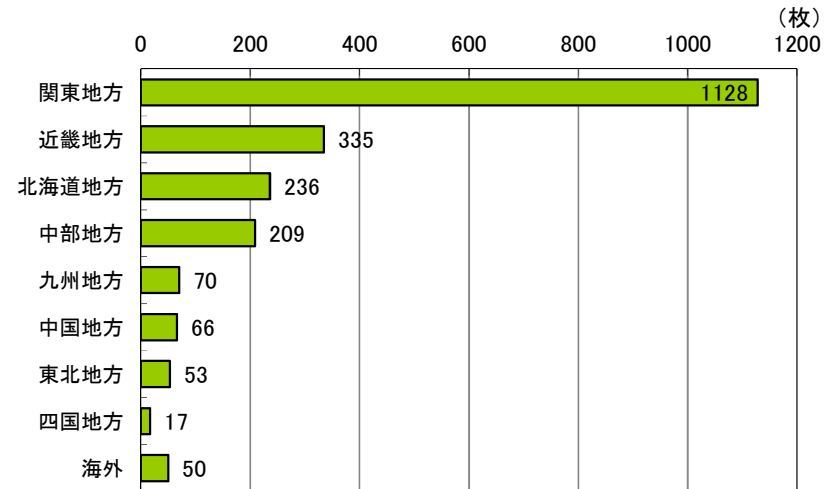
◎2015年度 観光利用実績

【1日パス販売数と販売窓口数】

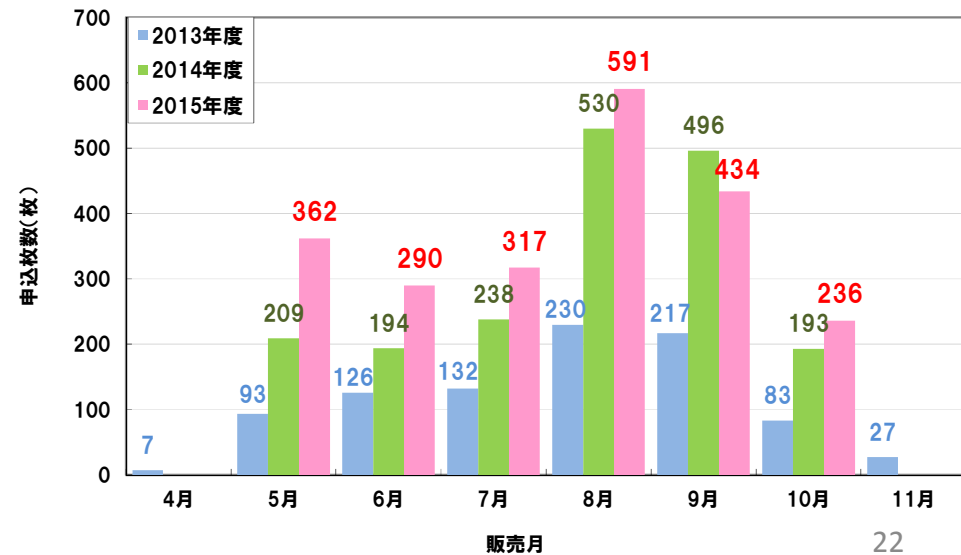


申込者数は昨年の1.2倍

【申込者の居住地】



【月別の利用者数】



4. 「ポロクル」を通じた観光魅力づくり

●2016年度 インバウンドへの貸出開始

◎2015年度上半期の来札観光客数

- ・2015年度上期観光客855万人、前年度上期比1.3%増加
- ・外国人宿泊者数は86万人で過去最多、前年度上期比44.3%の増加

【札幌市平成27年度上期観光客入り込み状況資料】

◎取り組み

- ・「1日パス」販売
- ・アンケート、ヒアリング調査
- ・札幌の魅力情報発信

porocle

Sign up form for 1-day pass

Please fill in the blanks outlined in bold.
A copy of the applicant's passport is required.

		Date	October		2015
Agreement	<input type="checkbox"/>	I understand that this service is subject to the attached Terms and Conditions of Use of Porocle Cycling Sharing Service 1-day pass, and I agree to accept the attached Important Notice. (Check off a box)			The Number of IC cards
Applicant	1	Applicant's Name Last Middle First		Cell phone number	IC cards number <small>(not required to be filled out)</small>
				-	-

Explore the city by bike !
Porocle is a bike-sharing system in Sapporo

1-day pass
1,080 yen
One person

The ports are available from 7:30am to 9:00pm
Until 9:00 pm, you must return the bike to any port once using the IC card.
From 7:30 am, the next morning you can rent it again at any port using the IC card.

You can park the bike at any place except the NO PARKING AREA.
You must lock up your bike every time.

Simply touch the IC card to the reader at the top surface of any bike dock with an available bike.

You can use the bike during 24 hours after your application is accepted.

5. 「ポロクル」を通じたその他事業

● 広告事業

- ◎ 整然と並んだポロクルの車体広告。歩行者や利用者から注目度が高い
- ◎ 社会貢献活動・地域活性化（観光促進）を通じて、社会性の高いポロクル
⇒ 企業イメージ、商品イメージを高める新しい広告メディアへ



【市民参加（ボランティア）】

5. 「ポロクル」を通じたその他事業

◎ 広告事業×CO2削減に向けた取組み

環境省が推進する「Fun to Share」の取組みに賛同し、
車体広告とmap広告を展開



「COOL CHOICE」とは・・・ 未来のために、いま、地球にやさしい製品・サービス・行動を選ぶこと。ポロクルを移動手段として選択することは「賢い選択」すなわち「COOL CHOICE」



あなたと
つくる
やさしい
まち